

◆ **今週のコメント** (感染地域、感染経路については推定を含みます。)

- ・ 劇症型溶血性レンサ球菌感染症の報告が第52週に1例(80歳代女性)あり、症状はショック・腎不全・急性呼吸窮迫症候群です。感染地域は国内で、感染経路は飛沫・飛沫核感染です。平成29年の累積報告数は9例となりました。
- ・ 侵襲性肺炎球菌感染症の報告が第52週に2例(80歳代男性2例)あり、平成29年の累積報告数は62例となりました。
- ・ 平成30年1月1日から百日咳及び風疹の届出基準が変更になりました。詳細は下記URLを御参照ください。
○感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第12条第1項及び第14条第2項に基づく届出の基準等について(一部改正)
<http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-10900000-Kenkoukyoku/0000189984.pdf>

◆ **今週のトピックス: <百日咳>**

昨年の京都市内定点医療機関からの百日咳の年間累積報告数は8例となり、一昨年の10例から減少しました。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ **発生状況**

全数把握の感染症

【平成29年第52週】

- ・ 二類: 結核 5例(肺結核 1例, 潜在性結核感染者 4例)うち喀痰塗抹陽性 1例
【平成29年の累積報告数 373例(肺結核 186例, その他結核 59例, 潜在性結核感染者 128例)うち喀痰塗抹陽性 88例】
- ・ 五類: 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1例 【平成29年の累積報告数 9例】
- ・ 五類: 侵襲性肺炎球菌感染症 2例 【平成29年の累積報告数 62例】

【平成30年第1週】

- ・ 二類: 結核 3例(肺結核 3例)うち喀痰塗抹陽性 なし
【1月以降の累積報告数 3例(肺結核 3例)うち喀痰塗抹陽性 なし】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点43, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	平成29年第52週			平成30年第1週		
	感染症名	定点当たり報告数	報告数	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	11. 26	777	インフルエンザ	7. 97	550
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	7. 02	302	① 感染性胃腸炎	2. 47	106
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1. 70	73	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0. 65	28
	③ 手足口病	0. 37	16	③ RSウイルス感染症	0. 35	15
	④ RSウイルス感染症	0. 30	13	④ 水痘	0. 19	8
	⑤ 水痘	0. 28	12	⑤ 突発性発しん	0. 16	7
眼科	流行性角結膜炎	0. 10	1	流行性角結膜炎	0. 10	1

【次ページ以降の主な内容】

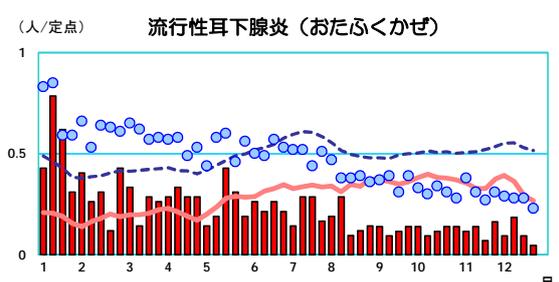
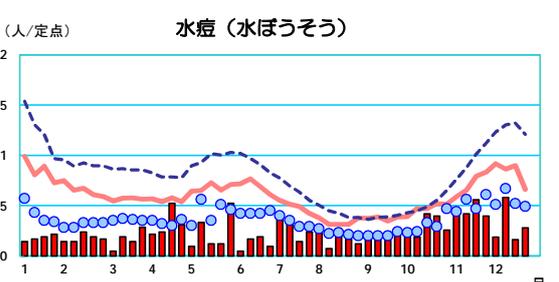
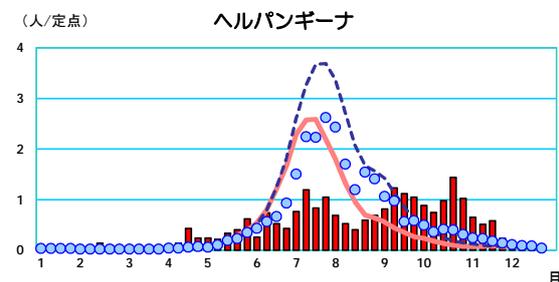
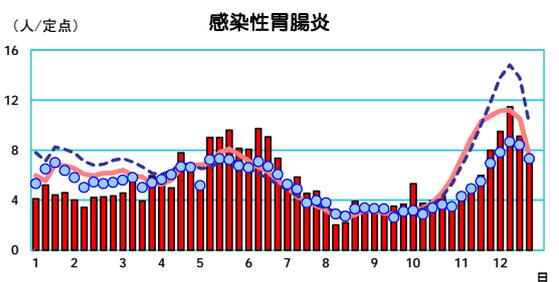
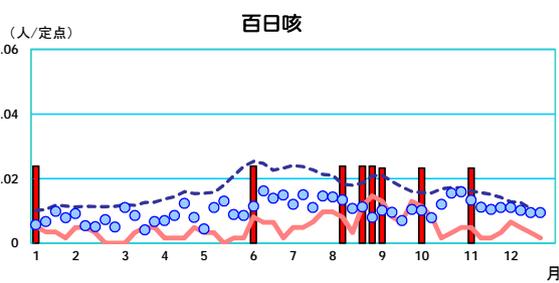
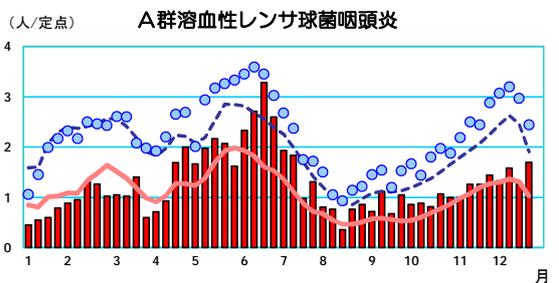
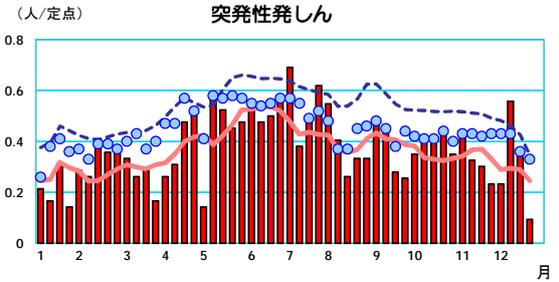
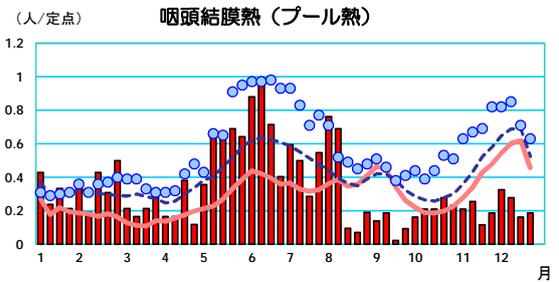
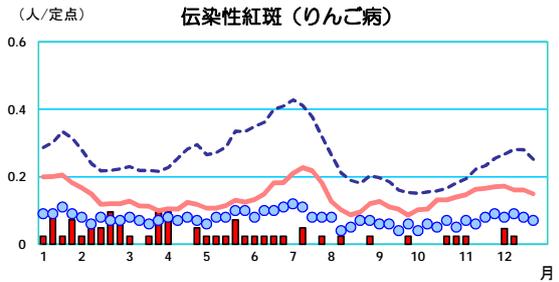
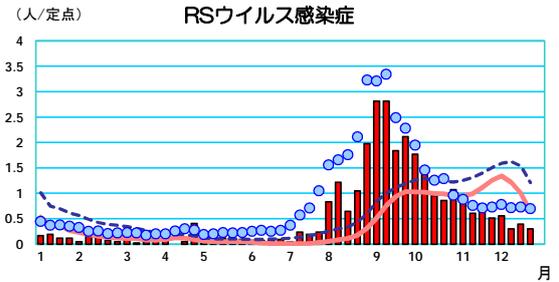
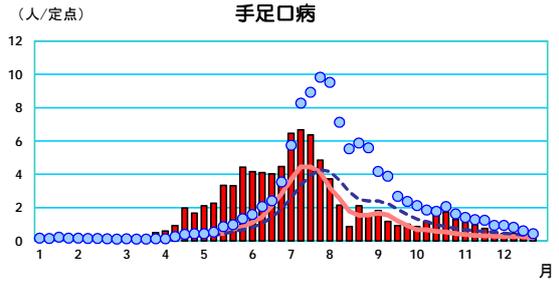
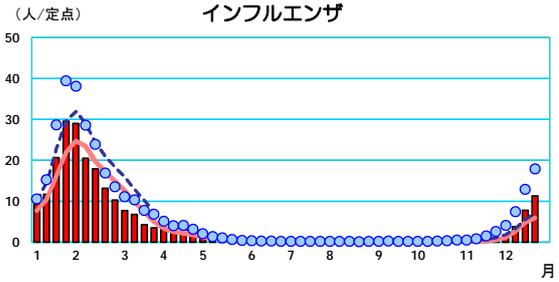
発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <百日咳>
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注) 京都市のデータは、平成30年1月11日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。

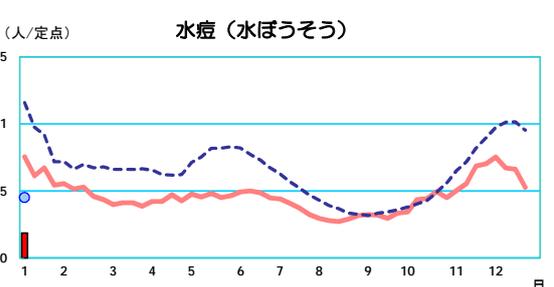
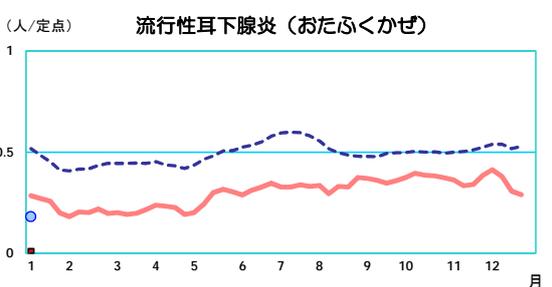
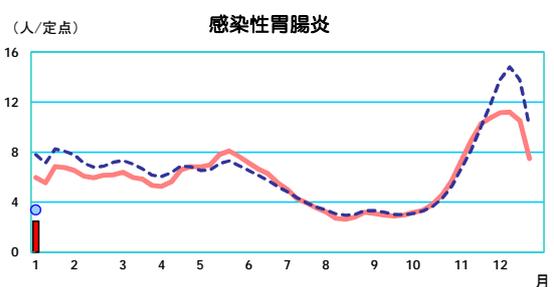
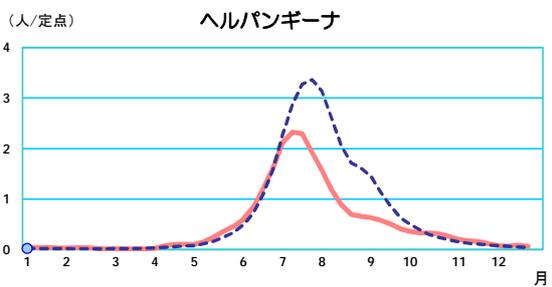
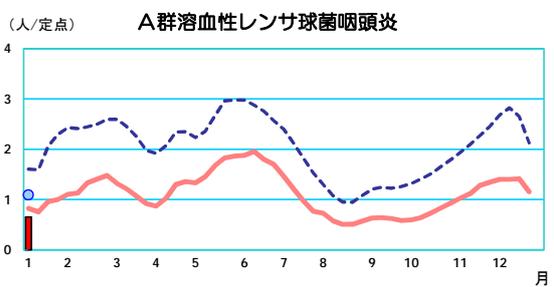
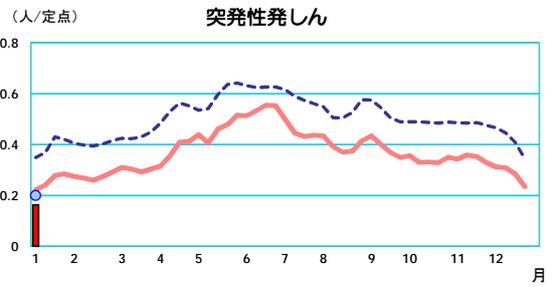
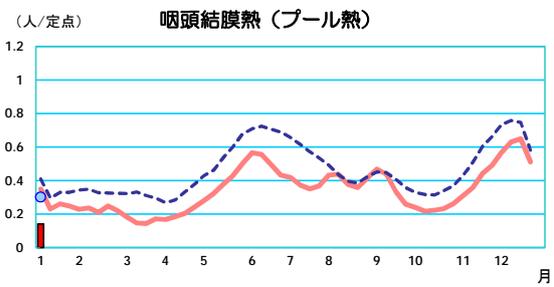
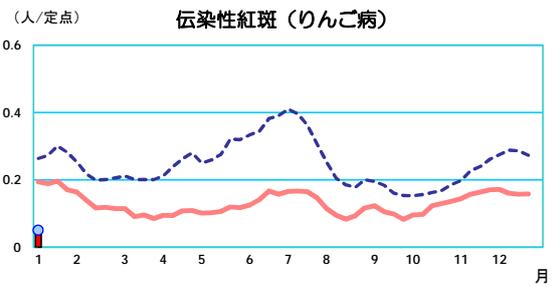
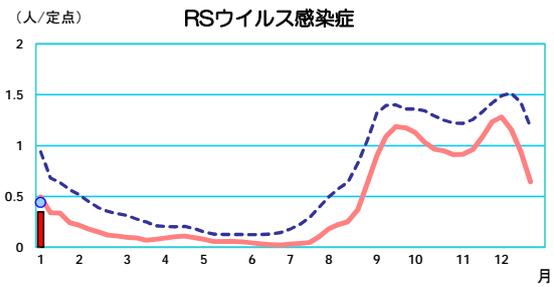
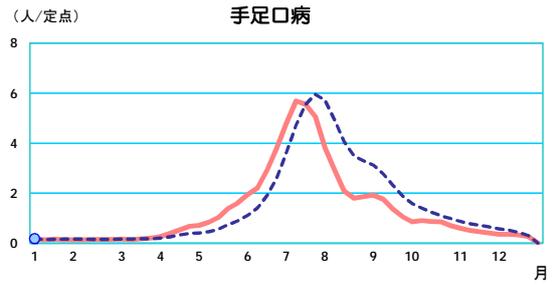
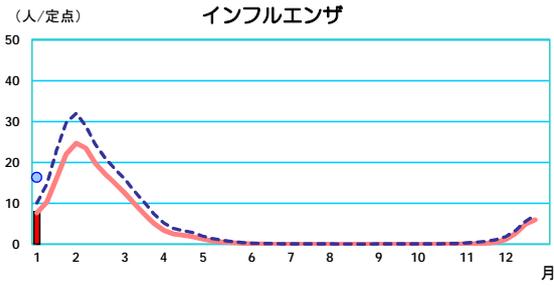
また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

* 感染地域及び感染経路については推定を含みます。

インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成29年）



インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成30年）



第1週(1月1日～1月7日) トピックス: <百日咳>

昨年の京都市内定点医療機関からの百日咳の年間累積報告数は8例となり、一昨年の10例から減少しました。全国では1,658例で、一昨年の3,011例から減少しました。過去の動向を累積報告数で見ると、京都市では5例～16例、全国ではおよそ1,700例～4,100例で推移しています(表1及び図1)。

全国の過去3年の発生動向を年齢階級別で見ると、1歳以降の複数年齢層を合計した報告数に比較して、1歳未満の新生児・乳児の報告が多いことが読み取れます(図2)。昨年までは、百日咳は感染症法に基づく五類感染症(小児科定点把握疾患)で、症状が典型的でない成人患者が把握できていない可能性があり、実際には20歳以上の感染者数はさらに多いと考えられます。症状の軽い百日咳でも菌の排出があるため、生後2箇月からはじまる予防接種が未接種の新生児・乳児に対する感染源になる場合があります。原因菌は百日咳菌で、確定診断は培養による百日咳菌の検出や遺伝子の検出によります。

百日咳は、届出基準等が改正され、本年1月1日から五類感染症(全数把握疾患)となりました。

改正の背景としては、次のような理由があげられます。

- ・15歳以上の罹患者の割合が増加した。
- ・これまで小児科定点把握疾患であったため成人を含む患者の発生動向が把握されにくかった。
- ・定点把握では症例の詳細が把握できなかった。
- ・疾患に特異的な届出基準がなく臨床診断によるため、類似する他疾患を含む可能性があり、報告の特異度が高くなかった。
- ・定点把握は即時性に劣るため集団発生への適時対応がとりにくかった。

感染症法に基づく五類感染症(全数把握疾患)は、診断した全ての医師が、患者の発生について届出を行う感染症です。新たに定められる届出基準をもとにした診断と百日咳発生届での報告が必要となります。届出基準や発生届などについては下記のホームページを御覧ください。

【京都市情報館】感染症発生動向調査事業に関する届出様式
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000043726.html>

【厚生労働省】感染症法に基づく医師の届出のお願い
http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/kekkaku-kansenshou11/01.html

【国立感染症研究所】百日咳とは
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansenohanashi/477-pertussis.html>

なお、青年・成人期以降の百日咳対策として、平成29年12月に沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン(商品名トリビックス®)の用法及び用量が改訂され、成人への追加免疫の接種が適応になりました。詳細については以下のホームページをご参照ください。

【独立行政法人医薬品医療機器総合機構(PMDA)】
<https://www.pmda.go.jp/PmdaSearch/iyakuDetail/GeneralList/636140BA3>

おことわり:今週のトピックスは、主に医療関係者向けの内容となっています。

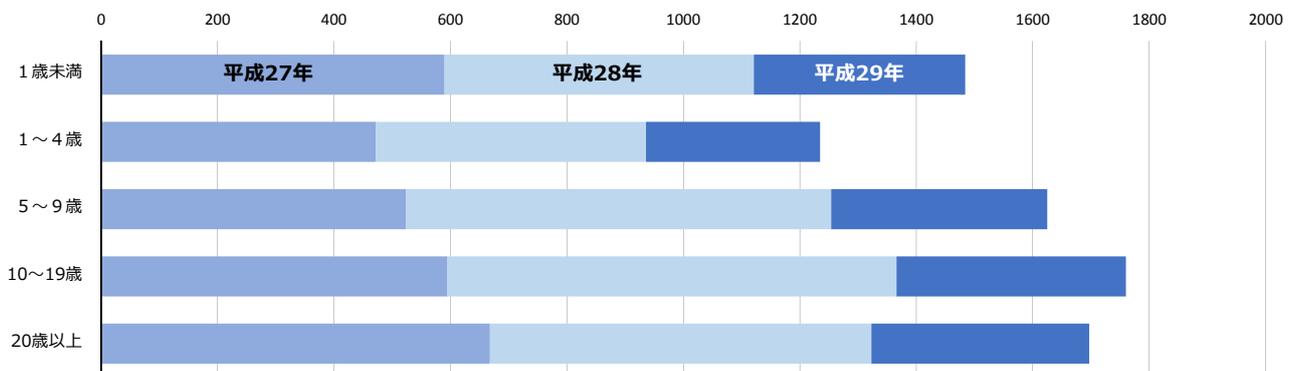
表1 京都市と全国の累積報告数の推移

	累積報告数	
	京都市	全国
H24	16	4,087
H25	5	1,662
H26	7	2,066
H27	13	2,675
H28	10	3,011
H29	8	1,658

図1 京都市と全国の累積報告数の推移



図2 全国の年齢階級別報告数(平成27年～平成29年)



T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成29年第52週

疾病,行政区別報告数

平成29年12月25日～平成29年12月31日

データ入手日:平成30年1月5日

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																				
北	33	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
上京	37	-	-	5	22	-	1	-	-	-	-	-	-	-						
左京	53	3	-	7	40	1	-	-	1	-	-	-	-	-						
中京	37	1	2	8	16	2	3	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-
東山	51	1	-	1	27	3	2	-	-	-	-	-	-	-						
山科	105	-	-	4	1	3	3	-	3	-	1	1	-	-						
下京	15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
南	104	-	1	4	25	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
右京	66	4	2	17	41	1	4	-	-	-	-	1	-	1						
伏見	180	2	1	13	80	1	2	-	-	-	1	-	-	-						
西京	96	2	1	14	50	1	1	-	-	-	-	-	-	-						
京都市計	777	13	8	73	302	12	16	-	4	-	4	2	-	1	1	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定当たり報告数

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																				
北	4.71	-	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
上京	7.40	-	-	1.67	7.33	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-						
左京	7.57	0.75	-	1.75	10.00	0.25	-	-	0.25	-	-	-	-	-						
中京	7.40	0.33	0.67	2.67	5.33	0.67	1.00	-	-	-	0.67	-	-	-	1.00	-	-	-	-	-
東山	17.00	0.50	-	0.50	13.50	1.50	1.00	-	-	-	-	-	-	-						
山科	15.00	-	-	0.80	0.20	0.60	0.60	-	0.60	-	0.20	0.20	-	-						
下京	5.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
南	20.80	-	0.33	1.33	8.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
右京	8.25	0.80	0.40	3.40	8.20	0.20	0.80	-	-	-	-	0.20	-	1.00						
伏見	16.36	0.29	0.14	1.86	11.43	0.14	0.29	-	-	-	0.14	-	-	-						
西京	12.00	0.40	0.20	2.80	10.00	0.20	0.20	-	-	-	-	-	-	-						
京都市計	11.26	0.30	0.19	1.70	7.02	0.28	0.37	-	0.09	-	0.09	0.05	-	0.10	1.00	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成29年第52週

年齢階級, 疾病別報告数

平成29年12月25日～平成29年12月31日

データ入手日:平成30年1月5日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
男女合計	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上					
インフルエンザ(※1)	年齢1	777	2	7	28	35	52	49	45	69	56	36	34	93	37	48	50	56	38	22	12	8	
RSウイルス感染症	年齢3	13	3	6	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		8	-	-	4	-	1	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		73	-	-	2	5	7	6	14	6	7	6	5	9	1	5	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		302	1	18	60	39	39	25	16	21	16	11	6	16	10	24	-	-	-	-	-	-	-
水痘		12	-	2	1	2	1	1	-	2	1	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		16	-	-	2	4	4	4	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		4	-	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		4	-	-	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		2	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		年齢2	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		年齢4	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
男女合計	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上					
インフルエンザ(※1)	年齢1	11.26	0.03	0.10	0.41	0.51	0.75	0.71	0.65	1.00	0.81	0.52	0.49	1.35	0.54	0.70	0.72	0.81	0.55	0.32	0.17	0.12	
RSウイルス感染症	年齢3	0.30	0.07	0.14	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		0.19	-	-	0.09	-	0.02	0.02	-	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.70	-	-	0.05	0.12	0.16	0.14	0.33	0.14	0.16	0.14	0.12	0.21	0.02	0.12	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		7.02	0.02	0.42	1.40	0.91	0.91	0.58	0.37	0.49	0.37	0.26	0.14	0.37	0.23	0.56	-	-	-	-	-	-	-
水痘		0.28	-	0.05	0.02	0.05	0.02	0.02	-	0.05	0.02	-	-	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		0.37	-	-	0.05	0.09	0.09	0.09	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.09	-	0.05	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		0.09	-	-	0.05	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		0.05	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎		年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		0.10	-	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		年齢4	1.00	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成29年第52週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成30年1月5日

京都市	男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)		41	73	105	263	538	777
RSウイルス感染症		34	22	24	13	17	13
咽頭結膜熱		5	8	14	12	7	8
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		54	62	57	68	54	73
感染性胃腸炎		257	344	408	493	392	302
水痘		24	17	8	25	7	12
手足口病		32	21	19	19	17	16
伝染性紅斑		-	-	2	1	-	-
突発性発しん		13	10	10	24	15	4
百日咳		-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		25	10	3	3	5	4
流行性耳下腺炎		3	7	4	8	4	2
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		1	6	8	5	8	1
細菌性髄膜炎 (※2)		-	-	-	-	-	1
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)		-	-	-	-	-	-
合計		489	580	662	934	1,064	1,213

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市	男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)		0.59	1.06	1.52	3.81	7.80	11.26
RSウイルス感染症		0.79	0.51	0.56	0.30	0.40	0.30
咽頭結膜熱		0.12	0.19	0.33	0.28	0.16	0.19
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.26	1.44	1.33	1.58	1.26	1.70
感染性胃腸炎		5.98	8.00	9.49	11.47	9.12	7.02
水痘		0.56	0.40	0.19	0.58	0.16	0.28
手足口病		0.74	0.49	0.44	0.44	0.40	0.37
伝染性紅斑		-	-	0.05	0.02	-	-
突発性発しん		0.30	0.23	0.23	0.56	0.35	0.09
百日咳		-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		0.58	0.23	0.07	0.07	0.12	0.09
流行性耳下腺炎		0.07	0.16	0.09	0.19	0.09	0.05
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		0.10	0.60	0.80	0.50	0.80	0.10
細菌性髄膜炎 (※2)		-	-	-	-	-	1.00
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)		-	-	-	-	-	-
合計		11.09	13.31	15.09	19.80	20.64	22.45

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成30年第1週

データ入手日:平成30年1月11日

疾病,行政区別報告数

平成30年1月1日～平成30年1月7日

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																			
北	54	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
上京	50	1	-	2	2	-	1	-	-	-	-	-	1						
左京	34	5	-	4	33	-	-	1	-	-	1	-	-						
中京	45	-	-	1	6	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	38	1	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-						
山科	53	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-						
下京	15	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-						
南	105	-	-	-	6	-	2	-	-	-	-	-	-						
右京	50	4	-	9	20	3	1	-	3	-	-	-	-						
伏見	74	2	5	5	24	4	2	-	3	-	-	-	-						
西京	32	2	1	7	8	-	-	1	-	-	-	-	-						
京都市計	550	15	6	28	106	8	6	2	7	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点点あたり報告数

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																			
北	7.71	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
上京	10.00	0.33	-	0.67	0.67	-	0.33	-	-	-	-	-	1.00						
左京	4.86	1.25	-	1.00	8.25	-	-	0.25	-	-	0.25	-	-						
中京	9.00	-	-	0.33	2.00	-	-	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	12.67	0.50	-	-	2.50	-	-	-	-	-	-	-	-						
山科	7.57	-	-	-	-	0.20	-	-	-	-	-	-	-						
下京	5.00	-	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-						
南	21.00	-	-	-	2.00	-	0.67	-	-	-	-	-	-						
右京	6.25	0.80	-	1.80	4.00	0.60	0.20	-	0.60	-	-	-	-						
伏見	6.73	0.29	0.71	0.71	3.43	0.57	0.29	-	0.43	-	-	-	-						
西京	4.00	0.40	0.20	1.40	1.60	-	-	0.20	-	-	-	-	-						
京都市計	7.97	0.35	0.14	0.65	2.47	0.19	0.14	0.05	0.16	-	0.02	-	0.10	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成30年第1週

年齢階級, 疾病別報告数

平成30年1月1日～平成30年1月7日

データ入手日:平成30年1月11日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上					
インフルエンザ(※1)	年齢1	550	2	7	23	26	21	28	19	16	14	15	21	43	23	55	69	49	57	25	22	15	
RSウイルス感染症	年齢3	15	5	4	4	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		6	-	-	1	2	1	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		28	-	-	2	2	2	1	3	3	2	2	3	2	1	5	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		106	-	8	17	20	7	7	7	5	4	2	3	7	5	14	-	-	-	-	-	-	-
水痘		8	-	-	-	1	-	3	2	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		6	-	2	1	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		2	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		7	-	3	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
細菌性髄膜炎(※2)		年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上					
インフルエンザ(※1)	年齢1	7.97	0.03	0.10	0.33	0.38	0.30	0.41	0.28	0.23	0.20	0.22	0.30	0.62	0.33	0.80	1.00	0.71	0.83	0.36	0.32	0.22	
RSウイルス感染症	年齢3	0.35	0.12	0.09	0.09	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		0.14	-	-	0.02	0.05	0.02	-	-	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.65	-	-	0.05	0.05	0.05	0.02	0.07	0.07	0.05	0.05	0.07	0.05	0.02	0.12	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎		2.47	-	0.19	0.40	0.47	0.16	0.16	0.16	0.12	0.09	0.05	0.07	0.16	0.12	0.33	-	-	-	-	-	-	
水痘		0.19	-	-	-	0.02	-	0.07	0.05	-	0.02	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	
手足口病		0.14	-	0.05	0.02	0.05	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
伝染性紅斑		0.05	-	0.02	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
突発性発しん		0.16	-	0.07	0.07	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ヘルパンギーナ		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性耳下腺炎		0.02	-	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎		0.10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.10
細菌性髄膜炎(※2)		年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成30年第1週

データ入手日:平成30年1月11日

週, 疾病別報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ(※1)	73	105	263	538	777	550
RSウイルス感染症	22	24	13	17	13	15
咽頭結膜熱	8	14	12	7	8	6
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	62	57	68	54	73	28
感染性胃腸炎	344	408	493	392	302	106
水痘	17	8	25	7	12	8
手足口病	21	19	19	17	16	6
伝染性紅斑	-	2	1	-	-	2
突発性発しん	10	10	24	15	4	7
ヘルパンギーナ	10	3	3	5	4	-
流行性耳下腺炎	7	4	8	4	2	1
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	6	8	5	8	1	1
細菌性髄膜炎(※2)	-	-	-	-	1	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-
合計	580	662	934	1,064	1,213	730

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ(※1)	1.06	1.52	3.81	7.80	11.26	7.97
RSウイルス感染症	0.51	0.56	0.30	0.40	0.30	0.35
咽頭結膜熱	0.19	0.33	0.28	0.16	0.19	0.14
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.44	1.33	1.58	1.26	1.70	0.65
感染性胃腸炎	8.00	9.49	11.47	9.12	7.02	2.47
水痘	0.40	0.19	0.58	0.16	0.28	0.19
手足口病	0.49	0.44	0.44	0.40	0.37	0.14
伝染性紅斑	-	0.05	0.02	-	-	0.05
突発性発しん	0.23	0.23	0.56	0.35	0.09	0.16
ヘルパンギーナ	0.23	0.07	0.07	0.12	0.09	-
流行性耳下腺炎	0.16	0.09	0.19	0.09	0.05	0.02
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.60	0.80	0.50	0.80	0.10	0.10
細菌性髄膜炎(※2)	-	-	-	-	1.00	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-
合計	13.31	15.09	19.80	20.64	22.45	12.23

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。